

水俣漁民、工場と団交

を支払う。一億山の補償金については土業責任者が上京、本社とも相談したうえで十二日午前十時越

半分に減らされた場合は再び引交

とる。またその他の補償金も再び要求すると英艦、さうにたわねわの要求に對ひ、ま行なつた現地の回答内容を契約書に書けと強硬に要求したため工場側もこれになした。このあと潮上組合長は契約書を漁民の前で朗読、漁民側も一



國田工場と國体を造る國民代議

させた。